

# 県政 わしの議員、県民の声を届ける

県議団と県議候補は10月17日、衆議院議員会館で政府交渉を実施しました。

わしの議員は、県民の厳しい状況と切実な思いを熱く訴えました。(詳細は19日付赤旗)



## 庄内川の改修を急いで

わしの議員は、「今夏の台風で西区の市民は東海豪雨を思い起こしている。新川の洗堰は1mかさ上げした。庄内川の改修を急いでほしい」と強く要望しました。また、避難所の劣悪な環境の改善も要望しました。

国交省の担当者は、「庄内川堤防の整備率は90%。

## 断層を突き抜けるリニアは危険



わしの議員は、「堀川・尼ヶ坂断層を調査したか。住民は知らされていないし、不安がいっぱい。環境破壊、健康被害のリニアは不要」と強く指摘しました。

## 「県営住宅の劣化修繕は貸手責任」「自治体に周知する」と回答

わしの議員は、「民法改正で賃貸住宅の畳や襖などの劣化による修繕は貸手の責任となるが、公営住宅も含まれるか。UR住宅も早急に対応を」と迫りました。

国交省の担当は、「公営住宅も改正の対象。通知を出している。愛知県に再度伝える。UR住宅は再来年4月の法施行を待たずに改正したい」と答えました。

## 障害者採用に財源確保を

わしの議員は、「官公庁の障害者雇用が法定率を切っている、愛知県でも高等学校教員で水増しがあつた。教育委員会は『労働環境の条件整備が必要』と言っている」と予算措置を求めました。

## 全学年の35人学級を早期に

わしの議員は、「子供の悩みやトラブル対応、豊かな学習のために35人学級が必要。愛知県の「子供の貧困調査」の提言の第一は「少人数学級の実施」になっているが、県は先生も教室も財源もない逃げている」と国の姿勢を求めました。

文科省の担当は、「あきらめたわけではないが、教員の働き方改革を優先している」の回答に留まりまし

## 児童相談所の体制を充実

「児童虐待やDVなどで児相職員は大変厳しい状況にある。3月には愛知県の一時保護所で自殺まで起きた。子供たちに目が届かない現状だ」と改善を求めました。

厚労省の担当は、「職員1人当たり50ケースを40ケースになる新計画に取り組む」と答えました。

## 特別支援学校のマンモス化解消を

わしの議員は、「いくつかの学校を訪ねたが、どこもマンモス化で大変な状況。教室不足で食堂や廊下を間仕切りしたりして急場をしのいでいる。子どもたちがパニックを起こしている。校長先生から『予算を増やしてほしい』と言われた」など現場の様子を伝えました。

## 「全中学校区にSSWを配置する」

わしの議員は、「未成年者に対する性暴力被害に迅速に対処するには、学校と児相などの関係機関の連携が重要」とスクールソーシャルワーカーなどの配置を求めました。

文科省の担当は、「来年度にすべての中学校区に配置(週1日、3時間)できるよう検討している」と回答しました。